



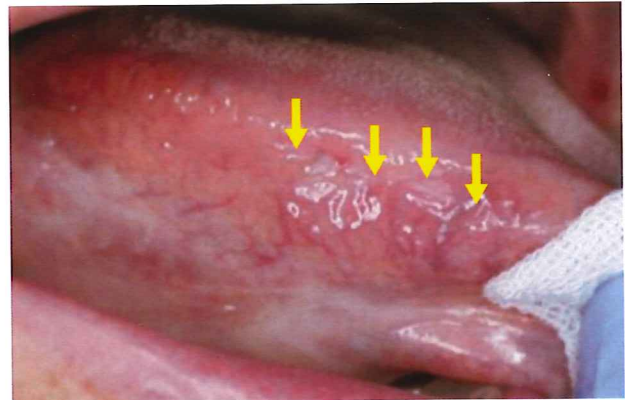
口内炎と口腔癌

口腔粘膜は歯や食べ物で絶えず刺激を受けていることや角質層がほとんど無いことから粘膜異常が生じやすい環境にあります。また、口腔常在菌による二次感染によって症状が変化しやすく全身疾患の一症状が現れることもあります。

食べる、話すなどたくさんの機能を持っているので一つでも障害されるだけでもQOLを低下させてしまいます。



口内炎



舌癌

左は口内炎で周囲に紅斑を伴う3～5mm程の類円形の浅い潰瘍です。口腔保清し、ステロイド軟膏により2週間程で治癒がみられましたが、中には経過が長く、なかなか改善がみられない難治性のももあります。右は難治性であったため精査を行い舌癌の診断を得たものです。その他にも様々な口腔粘膜疾患にて判別が難しいものがありますのでお困りの際はかかりつけ歯科にて相談や病院の口腔外科の受診をおすすめします。

帯広徳洲会病院歯科口腔外科でも定期的に旭川医科大学病院より口腔外科専門医が勤務し診察を行っておりますので御相談下さい。



監修 歯科口腔外科医
松田真也